

宇都宮市立新田小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
主体的な学びの実現に向けた授業改善	児童が目的意識をもって進んで課題解決に向かい、対話により思考力を深めていけるような授業展開の研究を進めていく。	「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の肯定割合は、1、4年で市を上回ったが、ほかの学年では下回っている。「学習した内容を見直し、次の学習につなげている」の肯定割合も市の平均を下回っている。
学び合いの充実と表現力の育成	自分の考えを整理したり、学んだことを生かして課題に取り組んだりする力を身に付けさせるため、1人1台端末を活用したり、ペアやグループ活動を取り入れたりするなど、互いの考えを共有する活動を設定し、話し合いを活性化を図る。また、思考の過程を振り返りながら、キーワードを用いて自分の言葉で学習のまとめや振り返りを記述することにより、学力の定着を図る。	「グループなどでの話し合いに自分から参加している」、「自分の考えを根拠を挙げながら話すことができる」の肯定割合はどの学年も市を下回っている。「パソコンを使ってまとめること」や「パソコンを使って相手にわかりやすく自分の考えや調べたことを伝える」ことについては、市の平均を上回る学年もあり、表現や学び合いのツールとして児童の学習意欲向上に役立っていることが伺える。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・どの教科においても基礎基本の定着に課題が見られる。基礎的な知識が十分に定着していないことで、学習への意欲が学年が上がるにしたがって低くなると考えられる。そこで、目標に向かって努力することの大切さに気付かせ、学校での学習態度の改善や反復練習の習慣化を図り、家庭でも自主的に学習に取り組めるように、学習意欲を全般的に高めていく。また、個に応じてスモールステップで、何度も学び直しができるように、教材を開発したり、学習環境を整えたりする。

・問題文を読み取ったり、自分の考えを表現したりするための語彙力を向上させるために、読書指導を継続して行う。学習した言葉を使って文章を書くなどの活動を取り入れることを通して、自分の考えを整理し、学んだことを生かして表現する力を身に付けさせたい。

・「自ら学び互いに高め合う児童の育成」を継続し、児童が対話を通して考えを広げたり深めたりできるような授業展開を工夫したり、教材開発を行ったりするなど、分かる喜び、考える楽しさを味わえるようにする。